

暮らし・福祉・教育優先の市政をめざして
みんなが



たんぽぽだより

日本共産党川西市議会議員 黒田みち

市会議員控室 TEL 740-1111 (内線4020)

直通FAX 759-1811

黒田みち事務所 TEL 795-4760

たんぽぽだよりブログ

http://kurodemich.exblog.jp



学校給食と地産地消を結び

「農」を活かしたまちづくりを!!



12月川西市議会 議場にて

12月議会で私(黒田)は、①学校給食をまちづくりの柱にする取り組み、②「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(障害者総合支援法)」施行後の現状と課題、の大きく2項目の質問・提案を一问一答方式で行いました。(次号で「障害者総合支援法」についてお伝えします。)

誇るべき3条件

この間お伝えしているように川西市の小学校給食は、「週5日」「米飯」「完全自校方式」の3条件がそろった全国的にも評価の高い方式で実施されています。全市でおこなったアンケートでも自校方式の給食を願う声が多く、喜ばれています。公立・民間保育所(園)でも1園を除いて「自園・直営方式」でこども達の心と身体の健やかな育ちを支えています。

中学校にも拡大を

この川西市の誇る小学校給食を、食と食を通じて学ぶ「食



育・食農教育」の観点から、中学校はもちろん幼稚園でも実施してほしいと提案し続けています。

同時に、給食食材に地元産を増やし、農地の再生・活性化と結びつけたまちづくりを、と提案しています。

地産地消で田畑活かす

給食食材の地産地消を進めることで、安心・安全の食材を確保し、農地を守り、活かして農業従事者を増やし、技術継承にもつながります。田んぼや畑、ため池などは治水、温暖化対策につながり、環境保全にも大きな役割を果たしています。

「公的な給食施設」は様々な災害時の地域拠点となることは実証済みです。「給食」と「地産地消」がまちづくりのキーワード。この2つを拡大し、「緑豊かな、災害に強い安心のまち、優しいまちかわにし」のまちづくりを進めましょう。

日本共産党議員団3人だけ「賛成」

「秘密保護法案制定するな」

市民の請願「不採択」に

国民の目・耳・口をふさぎ、民主主義を破壊する「特定秘密保護法案」に反対の世論が高まっているなかの12月川西市議会に市民の方から「特定秘密保護法案を制定しないよう国に意見書の提出を」との請願書が提出されました。

私達日本共産党議員団は紹介議員になり12月4日開催の議会運営委員会でもたくさんの傍聴者が駆け付ける中、趣旨説明を行い請願採択に向けて全力で取り組みました。

「国民の目・耳・口をふさぎ、民主主義を破壊する「特定秘密保護法案」に反対の世論が高まっているなかの12月川西市議会に市民の方から「特定秘密保護法案を制定しないよう国に意見書の提出を」との請願書が提出されました。

私(黒田)は、「事実だから削除の必要はない」と訴えましたが、「全員」は削除された意見書になりました。

請願提出前には、他党派からも「請願賛成」「12対12になる可能性も」などの声が聞かれましたが、残念ながら直前まで「紹介議員にはなれないが請願には賛成する」と言っていた会派から、同法案の「慎重審議を求める意見書」が提出され、市民からの請願は日本共産党議員団3人だけの賛成で不採択になりました。

次いで、「慎重審議を求める意見書提出」に対して私(黒田)は、提出賛成の立場から補強意見として「自民・公明は『慎重審議してきたから6日の会期採決を』といて強行採決の構えなのだから、最低限『慎重な審議を求めます』の前に、『国会で決めないことを含めて』を挿入すべき」な

「慎重審議」

意見書だけ提出

黒田の声

新しい幕が開いた
そう感じさせる

「国会での決め方が恐ろしい・・・」と若い女性

「学校でも話題にしているよ」と高校生

秘密保護法強行採決直後
アステ通路で行った同法撤廃の署名行動には安倍内閣への不安、怒り、憤り・・・

主権者である国民のファンファーレ

舞台と観客が一体となって大きく呼応する

いろいろな音色が響き渡り
共感・感動の輪がどんどん広がっていく

「考える材料を与える
秘密にするな」

「二度と再び戦争はしない」
「権力の横暴に屈しない」

内から湧きたつ声突き動かす

国民としての決意
つながろう・・・広がろう
包囲しよう

「人間らしく生きさせろ」
大合唱は終わらない

内なるエネルギーが熱を帯び続ける

つながろう・・・つなげよう
主権者としての新しいはじまり

国民の想いや願いとどんとん
かけ離れていく政治の終わ

憲法違反の秘密保護法撤廃へ

政権 終わりの始まり

秘密保護法案を強行した安倍内閣と与党にいま衝撃が走っています。世論調査で支持率は急落。安倍首相も「反省」を口にせざるを得ない状況に。悪法への批判がますます拡大するなか、各党の実像が鮮明に見えてきました。

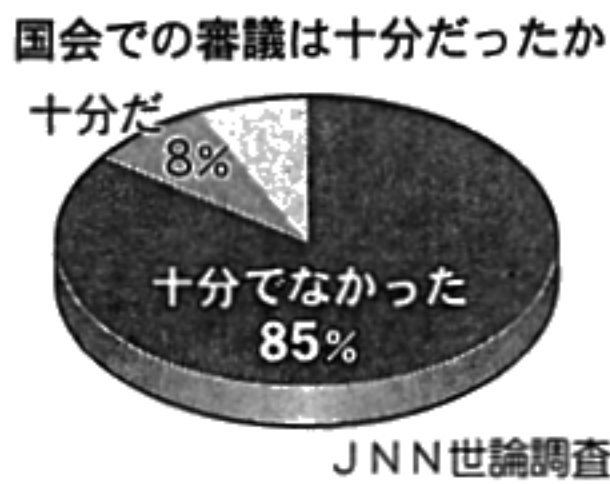
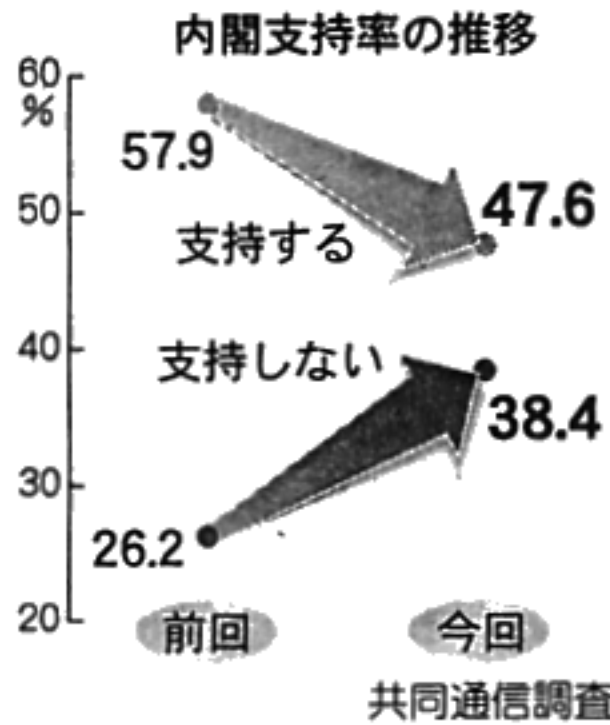
田中倫夫記者



「私自身もっと丁寧に説明すべきだったと反省している」

安倍晋三首相は9日の記者会見で、そう弁明せざるを得ませんでした。法案を成立させた達成感などがえ

法案強行で支持率急落



「やり方があまりにも雑で拙劣。これでは安倍政権も長いことない」と話すのは、自民党本部関係者。「景気回復国会にするといっていたのに、秘密保護法のゴリ押し国会になってしまった。これからTPP（環太平洋連携協定）や、4月の消費税増税など国民から反発を受ける難問ばかりなのに」と語ります。

秘密保護法成立を受けたマスメディアの世論調査では、内閣支持率がそれぞれ10%から14%も急落（グラフ）。「朝日」では「恣意（し）的の運用に不安」が73%にのぼりました。「今、自民党は危機

問われるのは自民党だけではありません。「自民党のブレーキ役」と宣伝する公明党は「歯止め役を果たす

「私は、国会開会の議員団総会で、安倍政権が暴走すれば、その一つひとつが自らの墓穴を掘ることになる、自らの基盤を掘り崩すといいました。この強行劇は安倍政権の終わりが始まったというところになる。必ずこの暴挙は、国民と歴史によって裁かれる。その日が必ずやってくる」

の党と維新の会はみじめな状態です。みんなの党は、法案対応をきっかけに国会議員14人が集団で離党届を出して分裂。代表格の江田憲司前幹事長は「秘密保護法案で渡辺代表が安倍首相と酒食を共にし、密室であらかじめ手を握った」（9日の会見）など

た。

的な状況と背中合わせ」と話すのは、ジャーナリストの鈴木哲夫さん（元BSイレブン報道局長）。「衆参での数のおごりもあったが、焦りもあった。アベノミクスの先行きは不透明。消費税増税で経済が悪化すると秘密保護法どころでなくなると考え、与野党『修正』談合で突き進んだが、かえって政治不信を買った」と分析します。

日本共産党の志位和夫委員長は、6日深夜の国会議員団総会で強調しました。

「秘密保全法制」を提起し、今国会では秘密保護法と一体の「国家安全保障会議（日本版NSSC）設置法」に賛成する

「秘密保全法制」を提起し、今国会では秘密保護法と一体の「国家安全保障会議（日本版NSSC）設置法」に賛成する

た。

夫委員長は、6日深夜の国会議員団総会で強調しました。

「私は、国会開会の議員団総会で、安倍政権が暴走すれば、その一つひとつが自らの墓穴を掘ることになる、自らの基盤を掘り崩すといいました。この強行劇は安倍政権の終わりが始まったというところになる。必ずこの暴挙は、国民と歴史によって裁かれる。その日が必ずやってくる」

の党と維新の会はみじめな状態です。みんなの党は、法案対応をきっかけに国会議員14人が集団で離党届を出して分裂。代表格の江田憲司前幹事長は「秘密保護法案で渡辺代表が安倍首相と酒食を共にし、密室であらかじめ手を握った」（9日の会見）など

「秘密保全法制」を提起し、今国会では秘密保護法と一体の「国家安全保障会議（日本版NSSC）設置法」に賛成する

た。

廃絶へ闘う



作家・僧侶 瀬戸内寂聴さん

国民の知る権利と自由を奪う不気味な秘密保護法案が、反対を叫ぶ多くの国民の声を踏みにじって押し通されようとしている。市民のデモを「テロ」と批判した石破自民党幹事長の本音の声は謝ってすませられるものではない。

戦争の中で育ち、青春を送り、敗戦後生き延び91歳を迎えている私に、こんな法案を成立させようとする政府が、憲法に背いて日本を「戦争する国」に仕立てようとしているのと同じかと思えない。文筆家、宗教家、女性という自分の三つの立場のどれからも、最後まで、この法案の廃絶に向けてたたかいたいと思う。

違法な法律



作家 高村薫さん

秘密保護法違反の裁判では、何が秘密なのか明らかにならず、自分が犯した罪の内容もわからないまま重罰を受けることになりま

家は与党も野党もみんな力ヤの外。そんな法律に、なぜ政治家が賛成するのか。まったく理解できません。もし成立したら忘れてはいけないことは、次の選挙で自民・公明・みんななど賛成した党に決して投票しないこと。政治が変われば廃止することもできます。

しん 赤旗

をお読みください
お申し込みは黒田みちまで
TEL&FAX 790-3055